



# Shinkoh News

—川口新郷工業団地協同組合—



第3回「ばんばん祭」赤井小中学生太鼓

2010 JAN. 78

発行日 / 平成 22 年 1 月 20 日 発行 / 川口新郷工業団地協同組合 発行責任者 / 石川義明 編集責任者 / 矢野 剛



理事長  
石川 義明

新年明けましておめでと〜うございま  
す。  
平成二二年の年頭にあたり、組合員の  
皆様には、お健やかに新春をお迎えのこ  
ととお喜び申し上げます。

さて、一昨年後半から続く経済危機も  
昨年二、三月が底といわれてから久しい  
のですが、われわれ中小企業にとつてい  
まだ回復の糸口すら見えない現状であり  
ます。

当団地も、大幅な受注減となり少な  
からずの組合員が休業を余儀なくされてお  
ります。幸い、雇用調整助成金制度があ  
りこれを適用させ、雇用を守っている状  
況です。組合として、そのような組合員  
を支援する目的で昨年七月より週一回の  
教育訓練講座を川口で二番目にスタート  
させ、延二五回、二千人弱の利用となっ  
ております。

今年の後半には、緩やかに景気が回復  
していくとの見方がありますが、予断の  
許されない状況が続くと思われる中、当  
組合といたしましても、できる限りの組  
合員への支援を続けていきたいと思いま  
す。



川口市長  
岡村 幸四郎

新年明けましておめでと〜うございま  
す。

川口新郷工業団地協同組合の皆様にお  
かれましては、お健やかに新春をお迎え  
のこととお慶び申し上げます。また、日  
頃より市政運営に對しまして格別のご理  
解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げま  
すとともに、本年、組合創立四〇周年を  
めでたく迎えられますことを心からお慶  
び申し上げます。

貴組合におかれましては、工業団地と  
して企業が集積している強みを活かした  
共同受配電事業をはじめとする様々な  
共同事業や住工共生を目指した「ばんば  
ん祭」を開催し、地域コミュニティ活動  
を推進されるなど、本市産業を牽引する  
リーダーとして活躍されておりますこ  
とに、心より敬意を表する次第でありま  
す。

さて、日本経済は、一部の経済指標に  
持ち直しの動きはあるものの、その水準  
は低く、雇用情勢や企業の業況などには、  
依然として厳しい状況となっております。  
また、デフレや為替変動など、景気の  
下振れも懸念されている状況にあります。

本市では、こうした非常に厳しい時で  
あるからこそ、「中小企業の経営の安定  
と市民生活の安定」を第一に講じるべき  
課題に掲げ、昨年十二月一日より第二次  
の不況対策・生活支援緊急対策を実施し  
ていくこととし、この不況対策では、金  
融・雇用等に係る総合相談窓口の開設を  
はじめ、総額で十四億円を超える規模の  
追加工事等と物品等の発注量の確保、離  
職者等の就職促進と人材の確保を目的と  
する「川口地区緊急雇用対策就職面接会」  
の開催等の措置を講じたところでありま  
す。

今後におきましても、「産業の振興な  
くしてまちの前進なし」との信念の下、  
高い気概と使命感をもって適時適切な政  
策を打ち出し、市内景気の確かな回復ま  
で手を緩めることなく、引き続き、諸施  
策に取り組んで参りますので、一層のご  
支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、川口新郷工業団地協同組合の  
益々のご発展と組合員の皆様方のご健  
勝、ご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶  
とさせていただきます。

おめでとうございます

☆長寿のお祝い

(五十音順)

◇有限会社厚澤製作所  
厚澤 伍朗 様



古希

◇有限会社荒井ダイカスト工業所  
荒井 和弘 様



古希

☆優良従業員表彰

中小企業人材確保推進事業に基づく表彰  
(五十音順)

『優良従業員』

- ◇川口板金株式会社 磯崎 伸行 様
- ◇神陽金属工業株式会社 牛川 博次 様
- ◇青木製缶工業株式会社 河村 晶子 様

◇粉末機械工業株式会社 信夫 稔 様

◇クラフトパック株式会社 鈴木 康修 様

◇有限会社荒井ダイカスト工業所 高橋 友幸 様

◇株式会社明光社 高橋 涉 様

◇川口板金株式会社 田代 宏 様

◇アサヒ建材株式会社 半杭 政行 様

◇中原建設株式会社 石川 博幸 様

◇川口板金株式会社 内田 貴之 様

◇神陽金属工業株式会社 小玉 泰央 様

◇株式会社明光社 吉田 大喜 様

『ホープ賞』

- ◇川口板金株式会社 浅井 利光 様
- ◇神陽金属工業株式会社 富田 洋行 様

☆川口市より表彰

永年にわたり、商工業の団体の役  
員としての功績が認められ受賞。  
(当組合にて推薦)



産業功労

株式会社川口鍛工所  
石田 昭 様

組合員の動き (平成二一年度)

(敬称略)

- ▽退会 (株)サイコー (平成二一年五月十一日付)
- ▽新組合員 東京アール・アイ(株) 代表取締役 齋藤一博 (平成二一年六月三日付)
- ▽代表者変更 ○神陽金属工業(株) 新 山本有祐 前 片岡 敏 (平成二一年六月付)
- 有限会社浜兼鑄工所 新 浜田 悦男 前 浜田 新一(故) (平成二一年六月付)

中小企業団体全国大会  
に参加!

平成二一年十一月十九日、石川理事  
長を始めとする八名でもって、中小企  
業団体中央会が主催する第六一回全国  
大会に参加した。

場所は、幕張メッセ「イベントホー  
ル」、参加人数は全国各地から集まっ  
たおよそ三三〇〇人。

会場では、「経済危機に対する中小  
企業対策の強化」「持続的成長に向け  
た中小企業予算の大幅な増額」「中小  
企業に配慮した雇用対策の推進」「中  
小企業の事業継続・活力維持・成長力  
強化に向けた税制支援の拡充強化」な  
ど十六項目の決議を行った。



会長  
森 雄児

新年明けましておめでとうございます。日頃より組合員、組合執行部の皆様のご指導ご協力を賜り、会員一同心から感謝申し上げます。

さて、私たちは、やや好転しつつあるとはいえ大不況の荒波にもまれていく状況にあります。この様なときこそ会を通して資質の向上や情報の交換はもろんのこと、互いの意欲を高めつつ、会員一同一致団結してゆくことが大切だと考えております。

また、納涼会・家族会なども例年にいい順次開催し、会員相互、会員家族相互の親睦を図っていききたいと思っております。

更に、本年四十周年を迎える組合の周年事業、新電源調査等にも前向きに関わって行きたいと思っております。

本年もご指導・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

なお、新会員も随時募集しております。どうぞお気軽に組合事務局までお声掛け下さい。

教育訓練講座実施中

「雇用調整助成金」による従業員の教育訓練事業の合同開催について、参加の有無・教育訓練テーマのアンケートを行ったあと、「埼玉県立職業能力開発センター」の協力を得て、七月三日から九月二十五日の毎週金曜日の計十二回を実施後、「きらり川口OBマッチング協議会」の協力を得て十月二日より平成二十二年三月二十六日まで教育訓練講座を実施、予定しております。

これは、「中小企業緊急雇用安定助成金」を適用して従業員に特定の日に休業させ、且つ、その日に教育訓練させた場合、同助成金の教育訓練をも適用となるものです。

組合で実施する場合、独自に企業で実施するよりも時間的に半分の四時間で済むメリットがあります。

現在、七社の申し込みがあり、一回につき八〇名前後の参加で、延二五回、二人弱の実績を得ております。教育訓練カリキュラム内容として

- 品質管理
  - 管理・改善の進め方
  - 求められる人材
  - 営業推進力と能力開発
  - 5Sの進め方
  - 安全・衛生について
- など従業員にとって、現在・将来に役立つ講義を実施しております。

親睦旅行

長崎への旅

十月二五、二六日の日・月で組合の親睦旅行を実施。今回はチョット少ない感じで、二十余名の参加をいただきました。

今年九州長崎方面とあって飛行機での早朝出発となりました。

羽田空港からは約一時間五〇分で福岡空港。バスに換えて七ツ釜遊覧の予定がいきなり荒れた海の為呼子での湾内海底見学に変更。出だしから変更にはまいった感はあるが呼子での昼食は名物烏賊の刺身は絶品の声があり、七ツ釜遊覧時間が変更になったけれどもお腹は満足。次は唐津城へと移動。

時間の関係から唐津城は現場まで行く健脚の人と駐車場から天守閣を望む人へと分かれての行動となりました。唐津城を出てからは今日の宿泊先の嬉野温泉へ。

一日の行程が終わり、温泉で疲れを癒し、懇親会。カラオケ・二次会と盛り上がり、懇親を深めました。

翌二日は長崎港から軍艦島(端島炭鉱)へ。「天気晴朗なれども浪高し」といった感じがして今日も困った状況になりそうでした。

軍艦島に上陸が出来るかどうかは現地に着いて接岸して分かる(決まる)



という事なので浪高しは非常に困ったが、無事上陸ができ島内視察。廃屋となった数々の建物が連なる異様な風景。わずか三十数年でここまでの廃墟と成ってしまうのかと驚きをもった一時間だった。軍艦島を出るときは浪が更にたかくなってきて、行き遭った次の船は上陸が出来ないだろうと案内人の言。軍艦島の後は長崎名物卓袱料理で昼食。そして大浦天主堂とグラバー邸の見学。

長崎名物の卓袱料理と坂道の町の昇り降りとは結構時間を取られて、少し忙しい観光となりました。

帰りは福岡空港発から、予定通り出発し、何事も無く羽田に帰り着き楽しい親睦旅行でした。

中小企業人材確保推進事業

について

この事業は「埼玉労働局」並びに「埼玉県」の認定を受け「雇用・能力開発機構」を窓口として、中小企業の労働力確保及び人材定着のための雇用管理の改善を促進することを目的とし、一昨年八月より初め、最終期間は、二三年三月です。

① 上期活動実績(二一年四月〜九月)は次のとおりです。

ア 人材確保検討委員会を三回実施。イ 八月二四日、ばんばん祭にて

「人材募集コーナー」を設置

ウ 埼玉県中小企業団体中央会機関紙「商工埼玉」に、広告を掲載

② 下期の計画は次のとおりです。

- ・ 人材確保検討委員会開催
- ・ 当工業団地と構成事業所のPR (埼玉新聞等)
- ・ 優良従業員表彰 (職場定着)
- ・ 団体、構成事業所パンフレットの作成・配布 (学校・関係機関)
- ・ フォローアップ調査事業
- ・ モデル企業視察
- ・ 組合ホームページの改定
- ・ 事業成果分析検討

組合員さんへ

この事業により、当団地のイメージアップをさらに高め、組合員の人材募集

定着をより推進していきたいと思っております。事業を進めていく中で、色々とお願ひすることがございます。そのおりにはどうぞご協力の程お願いいたします。

石川金属機工さんが(社)山梨県雇用促進協会の見学会を受入れ

平成二十一年十一月十八日、同協会会員三十余名が「高齢者雇用先進的事業所」として石川金属機工さんを見学しました。

当日、一時間三〇分ほど工場見学のあと新工会館へ移動。

二階会議室にて、石川金属機工さんが「会社概要」「テレビ埼玉で放映されたビデオ」を交えながら高齢者雇用対応を説明。熱心な質疑応答のあと、同協会の武田興信会長より次の感謝の言葉がありました。

「おかげさまで、貴社ぬくもりある着実な取り組みと積極的な営業努力、そして何よりも七トンもの「湯」を自在に操る高度な技術は目を見張りました。参加企業が改めて高齢者の技術の継承の重要性を実感させていただきました。この見学会を通して汲みとることができた「人情」「ふれあい」「相互の気づき」は必ずや今後の高齢者雇用と定着に役立つものと思います。」

「ばんばん祭」(第三回)開催!

開催!



平成二十一年八月二三日(日) 当組合主催、江戸袋町会・東本郷南町会・都住舎人自治会の三町会の共催により、「第三回新郷工業団地夏祭り」ばんばん祭」を実施しました。

\*「新郷工業団地でものづくり」に励む人。そして回りに暮らす人。工業と暮らし。この両方が仲良く理解しながら共生する。」

当日天気にも恵まれ六千人を越す方が来場、以下ほんの一部ですが、その様子を掲載いたします。





## 第二五回ボーリング大会報告

皆様、ばんばん祭の行事運営に参加し、一方来場者として色々な出し物や出店の味覚を一緒に楽しみませんか。

平成二十二年九月十八日、南平グラウンドボールにて、参加者七六名、十九チームで実施、石川理事長のあいさつ・始球式のあと二ゲームでの熱戦を繰り広げました。

◎団体賞（敬称略）

- 優勝 石川金属機工グレイト
  - 準優勝 川口鍛工所2
  - 三位 モリチュウゴールド
  - 七位 事務局
  - ブービー 川口板金1
- 各チームの成績は次のとおり

第25回ボーリング大会得点表

順位	チーム名	1G	2G	計	HC	合計
①	石川金属機工グレイト	672	630	1302	5	1312
②	川口鍛工所2	606	527	1133	40	1213
③	モリチュウゴールド	578	524	1102	40	1182
4	粉末機械工業	587	556	1143	10	1163
5	茂呂製作所	506	523	1029	60	1149
6	川口鍛工所1	542	526	1068	0	1068
⑦	事務局	472	584	1056	0	1056
8	共和歯車製作所	433	363	796	120	1036
9	テクノスセキグチ	510	502	1012	0	1012
10	石川金属機工ハッピー	382	367	749	120	989
11	トラック組合	405	481	886	40	966
12	モリチュウファーム	496	443	939	0	939
13	石川金属機工キラーリ	478	396	874	10	894
14	神陽金属工業 A	396	471	867	0	867
15	岩宗鋳造所	372	469	841	0	841
16	神陽金属工業 B	364	383	747	0	747
17	中原建設	327	411	738	0	738
⑱	川口板金1	362	344	706	0	706
19	川口板金2	350	353	703	0	703

表彰式、大槻事業副委員長の閉会のあいさつにより和気あいあいと盛会のうちに終了しました。